

図1 科学技術イノベーション人材の育成・確保のための施策 (キャリアパスのボーダレス化に向けて)

資料1-1

【基本的方向性】

広範な分野で活躍する科学技術イノベーション人材の育成・確保のためには、「キャリアパスの明確化」と「キャリアパスの多様化」に加えて、今後の急速な産業構造の変化に対応し、これまでの科学技術基本計画に基づく取組の施策効果の最大化を図る観点から、産学官における全世代の研究者の流動性を高め、「キャリアパスのボーダレス化」を実現するための仕組みが必要。

【具体的施策】

①若手研究者の活躍支援と流動性の高い人材システムの構築

- テニュアトラック制の活用促進
- 優秀な研究者が機関の枠を超えて活躍できる新たな制度の創設
- 産学官のマッチング機会の更なる充実（中長期研究インターンシップ・産学連携講座の拡充と研究開発法人による博士課程学生の雇用）

②国境を越えて優秀な人材を獲得する仕組みの構造化

- 頭脳循環を加速する取組の推進
- 優秀な留学生の定着・活躍促進

③多様な研究者が活躍するダイバーシティ研究環境の整備

- 女性研究者の活躍促進（指導的立場の女性割合の増加策と環境整備の一体的推進）
- 新たなイノベーションシステムに不可欠となる研究推進人材の育成（技術支援者、プログラムマネージャ、リサーチアドミニストレータ等）

【セクター間の異動状況（平成24年度）】

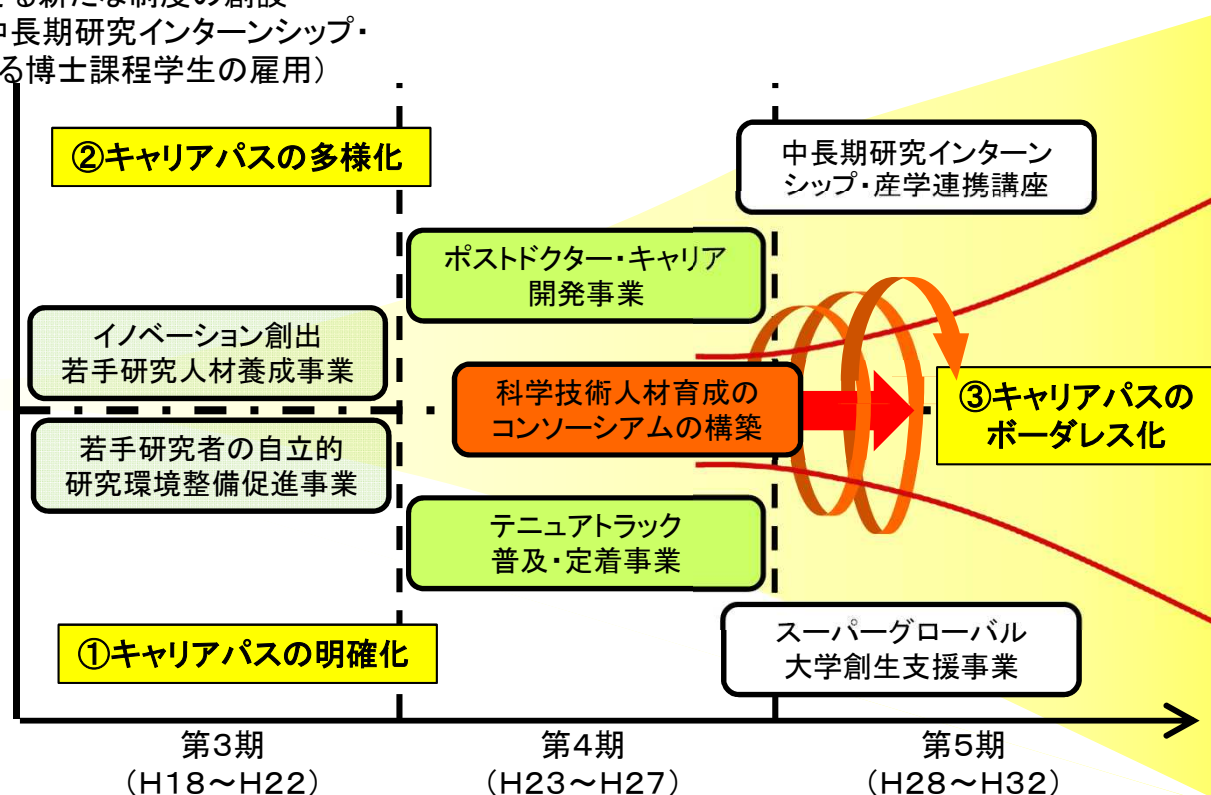
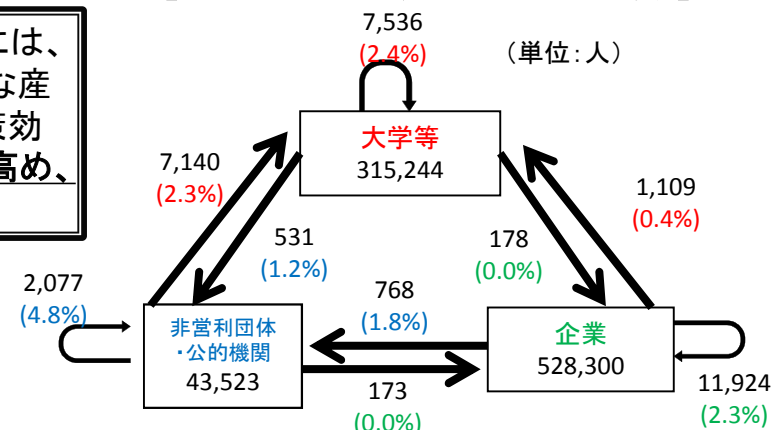


図2 若手研究者の活躍支援と流動性の高い人材システムの構築

